

こっこめ通信 07 2007

「知らないことだらけ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

5月から6月上旬、この時期にしては珍しい北東の風が吹いたため湿度が下がり、信じられないほど過ごしやすいい日々が続きました。秋と勘違いした植物も多く、イソギクやヤクシソウなどの花も咲いていました。

しかし、梅雨入りすると一転、南寄りの風に変わり、島らしいジメジメした日が続いています。それでも今年は雨は少なく、このまま夏になると水不足になってしまうのではないかと心配になってしまいます。

さて、今回は、「土の中の小さな生きもの」と「大きくなったら何になる？」のお話です。

土の中の小さな生きもの

6月23日八文学講座にて「土の中の小さな生きもの」を開催しました。この行事は、生態系の中で分解者として重要な地位を占める土壌中の微小動物を観察し、自然環境全体が繋がって機能していることを実感してもらおうねらいがありました。今年は雨のせいもあり参加者は4名と少し寂しい行事となってしまいました。それでも最初は不気味がっていた参加者も、慣れてくると「いた〜」「見つけた〜」と歓喜の声を上げていました。



今回用意した土は、「自然度の高いスダジイ林」「スギの植林地」「あまり手が入らない畑地」の3箇所、それぞれの場所にどれくらいの種類の土壌生物がいるかを調べてみました。

結果は、

場所	種数
スダジイ林	15種
スギ林	7種
畑地	2種

すべての生きものが探し出せたわけではないですが結果的には、自然度の高い場所ほど種数が多かったのが分かります。

また雨の降った後の土をサンプリングしたために、土が固まってしまい見つけれられる生きものが少なかったことを次回の観察に役立てたいと思います。

今回観察した土壌生物たちが生態系で重要な働きをしていることを考えさせられた一日でした。



ヤスデの仲間



ナガワラジムシの仲間



クモの仲間



ダニの仲間



シロアリの仲間

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

大きくなると何になる？

この時期は春を待つ卵を産み、その卵からふ化したいろいろな幼虫が見られます。大きくなった姿は知っているも幼虫の時はどんな姿をしているか知らない虫も多いはず。そこで、今回は公園の中でいろいろな幼虫を探してみました。ここに紹介したのはほんの少しですが園内にはいろいろな幼虫がいましたよ。



秋に産んだ卵の状態です。ひとつの卵からは100匹以上の幼虫がふ化します。

ふ化した幼虫は葉の上などでエサとなる虫を待ち伏せして食べて育ちます。

夏頃、成虫になります。



成虫で冬を越し、春になるとイラクサ科の植物に卵を産みます。写真はヤブマオ。

ふ化した幼虫は糸を吐き、器用に葉を丸めて巣を作ります。葉の裏が白いので巣は、かなり目立ちます。

蛹になるまで葉の中です。



この仲間は種類によって幼虫が食べる植物が違います。この幼虫は、ヨモギを食べて育ちます。

脱皮がらをかぶってカモフラージュするのも特徴です。

大人になるとがんじょうな体になる虫です。



この幼虫は、ふ化するとまず自分が出てきた卵の殻を食べます。その後は、葉を食べて成長します。キャベツの害虫としても知られています。

5回目の脱皮でさなぎになり、羽化して成虫になります。



口で物質でできた毛束をお尻につけています。なんだか風に飛ばされてきた種みたいです。目がグルグル模様がちょっとおしゃれ？

触ろうとすると「びよん」とまるでバツタのようにジャンプします。

答え合わせは
あみだをたどろう



モンシロチョウ



ヒメジンガサハムシ



アカタテハ



ハラビロカマキリ



ベッコウハゴロモ

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は6月10日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成19年第6回) 参加者・沖山, 菊池(昭), 金田 V.C. 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本						木本		
1	シロバナマンテマ	花と実	36	チチコグサ	実	1	ガクアジサイ	花
2	トキワハゼ	花と実	37	ヤクシソウ	花、結構咲いている	2	ウツギ	実
3	コナスビ	花	38	トキワツユクサ	花、まだ少ない	3	ヤブニッケイ	花
4	コモチマンネングサ	花と無性芽	39	ヨツバムグラ	実	4	ヒサカキ	実
5	ツメクサ	花と実	40	ミゾイチゴツナギ	実	5	ヤブツバキ	実
6	オニタビラコ	花	41	アオノクマタケラン	花	6	ハチジョウイボタ	花
7	ヌカボ	実	42	ヤマカモジグサ	花と実	7	ヒメユズリハ	若い実
8	ヒメコバンソウ	実	43	チガヤ	実	8	オオシマザクラ	熟した実
9	ハナヌカススキ	実	44	ギシギシ	実	9	オオバヤシャブシ	実
10	ナギナタガヤ	花と実	45	ヒメジョオン	花	10	スダジイ	実の虫こぶ
11	スズメノカタビラ	実	46	ウスベニニガナ	花	11	アカメガシワ	若い実
12	クサイ	花と実	47	セイヨウタンポポ	花と実	12	ヤマモモ	熟した実
13	オオアレチノギク	花と実	48	コケリンドウ	花	13	ハゼノキ	若い実
14	イワニガナ	花	49	ナンゴクネジバナ	咲き終わり	シダ植物		
15	ドクダミ	花	50	ツルマオ	花	1	ホシダ	
16	ニワゼキショウ	実	51	コセンダングサ	花と実	2	ナチシケシダ	
17	ハハコグサ	花	52	ミツバ	花と実	3	ミゾシダ	
18	トウバナ	実	53	コメツブツメクサ	花と実	4	ホラシノブ	
19	カモジグサ	実	54	タチスズメノヒエ	花と実	5	タチクラマゴケ	胞子葉が目立つ
20	カタバミ	花と実	55	イヌホオズキ	花と実	6	ヘラシダ	
21	キツネノボタン	花と実	56	アオカモジグサ	実	7	タマシダ	
22	ハチジョウアザミ	花	57	ヒエガエリ	実	8	オニヤブソテツ	
23	オオニワゼキショウ	実	58	ベニバナボロギク	花	9	ヤマイトチシダ	
24	ハキダメギク	花	59	ヤエムグラ	実	10	オオタニワタリ	
25	イヌタデ	花と実	60	シロノセンダングサ	花と実	11	カニクサ	
26	オオバコ	実	61	ムラサキカタバミ	花	12	ハチジョウシダ	
27	ママコノシリヌグイ	花	62	ツユクサ	花	13	ハチジョウカナワラビ	胞子は既に飛散
28	コマツヨイグサ	花と実	63	ウラジロチチコグサ	花	14	ヒトツバ	
29	アオスゲ	実	64	チチコグサモドキ	実	15	ハチジョウベニシダ	胞子が熟す
30	ハチジョウイチゴ	実	65	ヒナギキョウ	花と実	16	マメヅタ	
31	ウマノミツバ	花と実	66	ニラバラシ	実	17	マツバラシ	
32	シチトウスミレ	閉鎖花	67	ノゲシ	花と実	18	タチシノブ	胞子葉が目立つ
33	ウスベニチチコグサ	花	68	カラスノエンドウ	黒い実	今回はシダ植物も含めて 99 種の植物を記録しました。		
34	コケミズ	実						
35	シマホタルブクロ	花、咲き始め						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、八丈ならではのラン「ヒメジガバチソウ」にスポットを当ててみたいと思います。



ヒメジガバチソウ

Liparis krameri var. *shichitoana*

ラン科、ジガバチソウの変種でジガバチソウより小型。分布は伊豆諸島とされています。葉は二枚の広卵形、薄紫の花が10前後つきます。

6月上旬頃から三原山・八丈富士の中腹より上で見ることができます。

【環境省レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類】

2007 八丈ビジターセンター 7 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 04:28 11:33 18:50 23:53	2 05:09 12:11 19:23	3 05:51 00:31 19:57 12:50	4 06:36 01:12 20:30 13:29	5 07:25 01:58 21:02 14:09	6 08:22 02:49 21:34 14:50	小暑 7 ガイドウォーク 09:31 03:47 22:08 15:33
☾ 8 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 11:02 04:53 22:46 16:22	9 13:04 06:06 23:34 17:28	10 14:59 07:18 19:04	11 00:36 08:22 16:15 20:43	12 01:45 09:18 17:07 21:54	13 02:48 10:08 17:47 22:43	● 14 ガイドウォーク 03:44 10:54 18:22 23:24
15 ガイドウォーク 04:33 11:35 18:53 23:59	16 05:18 12:13 19:20	17 06:00 00:34 19:43 12:47	18 06:41 01:08 20:04 13:19	19 07:22 01:43 20:25 13:49	20 08:06 02:23 20:48 14:19	21 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」 08:58 03:08 21:13 14:49
☾ 22 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「三原山縦断 トレッキング」 10:09 04:03 21:43 15:22	大暑 23 12:06 05:12 22:22 16:05	24 14:27 06:30 23:20 17:25	25 15:45 07:40 19:37	26 00:42 08:37 16:27 21:06	27 01:55 09:24 17:00 21:56	28 ガイドウォーク 八丈学講座 「川の生きもの観察会」 02:50 10:05 17:30 22:34
29 ガイドウォーク 03:38 10:44 17:58 23:08	☾ 30 夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 04:23 11:22 18:27 23:42	31 05:08 11:59 18:55			この色の日は 特別行事があります	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
7/8 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名

八丈学講座 「川の生きもの観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、鴨川でエビやカニなど、川の生きものを探して観察します。
7/28 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
鴨川ホテル水路集合・解散 参加費:100円 定員:15名

夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」

毎年恒例の夜の虫観察会。植物公園内で夜に活動する昆虫を探して観察します。
7/21 (19:30～ 約1時間半) 小学生以上 (低学年は保護者同伴)
ビジターセンター集合・解散 参加費:100円 定員:20名

夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」

今年のコースは、防衛道路無線局から山頂へ、下りのコースは当日までのお楽しみ！
7/22 (9:30～ 約6時間) 小学生以上 (低学年は保護者同伴) 【8/5にも開催します】
ビジターセンター集合・解散 参加費:500円 定員:20名

夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」

潮だまりに棲む生きものを採集してみんなで観察します。濡れても良い格好で！サンダルは不可
7/30 (10:00～ 約2時間) 小学生と保護者 【8/13にも開催します】
現地集合・解散 (当日決定) 参加費:100円 定員:15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2007.7.1 第74号

開館時間 9:00～16:45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

(ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます)

編集後記

知らない生きものを調べる作業がとても好きです。調べて知った生きものは私たちが生きていく中でどこかつながりがあるわけです。

人はいろいろな生きものたちがいることで生かされてる。もっといろいろなものを大切にしないといけません。(高)